令和06年度　第3回　野方警察署協議会　議事概要			
開催日時	令和06年12月19日　午後03時00分～ 午後04時45分		
開催場所	野方警察署　講堂	出席者	協議会委員　9名 署長ほか　1名
内　容			

[業務説明]

1　前回会議以降の取組み紹介
（1）衆議院選挙石破総理大臣応援演説警備
（2）管内調理師専門学校と連携した大規模災害に備えての炊き出し訓練
（3）コンビニ3社と連携した合同防犯訓練
（4）交通安全キャンペーン
2　特殊詐欺の現況
（1）管内特殊詐欺認知状況
　ア　検挙事例紹介
　イ　特殊詐欺手口概況
　ウ　管内で発生したオレオレ詐欺の概況
（2）都内特殊詐欺手口、被害者年齢層
（3）悪質リフォーム業者対策（事例紹介）
3　自転車総合対策の継続推進結果
（1）管内交通事故発生状況（11月末現在）
（2）自転車の関与する事故件数と推移
（3）自転車関連の道路交通法の改正
　ア　酒気帯び運転および幇助
　イ　スマホのながら運転
（4）管内の自転車事故事例（ドラレコ影像紹介）
（5）自転車事故多発地点対策紹介

[警察署の業務に関する意見等の聴取]

1　署長から協議会への説明内容
（1）他署協議会の活動内容紹介
（2）今後の展望
（3）協議会とタイアップした管内自転車通行帯の新規設置構想
（4）管内大学と協定を結び大学生の協力を得てのＳＮＳ等による情報発信体制の構築
2　警察署協議会からの意見要望等
　先日、子どもに対する事案があった際の情報伝達が遅かった事があったので、地域で見守る為にも速やかな情報発信をお願いしたい。（デジポリス等の配信）

[その他の意見要望等]

　最近、他府県警察の方が防犯カメラの映像提供をお願いに来ることが多いが、昨今の情勢から本物の警察官かどうか見分けがつかないので、野方署に電話するので本物かどうか確認してもらいたい。

　警察は広報下手な部分があったので、今後の取組みを楽しみにしている。

その他	

※　詳細な会議録については、各警察署及び警視庁情報公開センターにおいて閲覧することができます。

令 和 0 6 年 度　　第 2 回　　野方警察署協議会　議事概要			
開催日時	令 和 0 6 年 0 9 月 2 7 日　　午後03時00分～ 午後04時45分		
開催場所	野方警察署　講堂	出席者	協議会委員　　8 名 署長ほか　　1 名
内　容			

[業務説明]

1　特殊詐欺対策の強化推進（前回の諮問事項）
（1）「コンビで守り隊」の結成
　ア　私服勤務員１人につき管内のコンビニ１店舗を指定して警戒を実施
　イ　サポート詐欺防止対策
　（ア）署外活動を通じて指定されたコンビニに立寄り警戒
　（イ）店長等との人間関係を構築して通報体制を確立
（2）広報啓発の強化
　主要駅での防犯キャンペーン
（3）管内の特殊詐欺発生状況
　ア　認知件数の推移
　イ　発生の傾向
　ウ　特殊詐欺の手口と対策
2　前回会議での意見要望等に対する取組・回答
（1）自転車事故防止総合対策の推進結果
　ア　自転車が関与する事故件数（８月末現在）
　イ　交通事故防止キャンペーン
　ウ　重点取締り
　　違反種別、取締り件数
　エ　住民の要望に応える取組
　　見通しの悪い交差点にポールを設置
（2）犯罪被害者支援制度について
　ア　目的の三本柱
　（ア）被害者人権の尊重
　（イ）捜査過程での二次被害の防止
　（ウ）捜査活動への理解と協力
　イ　当署における被害者支援状況（令和６年度）
　ウ　犯罪被害者手記の紹介

[警察署の業務に関する意見等の聴取]

1　署長から協議会への説明内容
（1）１１０番通報状況（８月末現在）
　ア　全庁の入電件数
　イ　当署の入電件数
　ウ　入電内容の内訳
（2）管内の交通事故発生状況
　ア　交通人身事故の発生傾向
　　交差点での出会い頭の事故が多数
　イ　自転車事故防止総合対策の継続
　（ア）自転車絡みの多い路線の重点的な取締り
　（イ）自転車走行マナー向上のための啓発活動
（3）当署の特異な検挙事例
　ア　自転車使用によるあおり運転犯人の検挙
　イ　カフェ店内トイレにおける盗撮犯人の検挙
2　警察署協議会からの意見要望等
　中野区はマイクロモビリティーを推奨して自転車等のシェアリング事業を拡大する方針だが、自転車の走行マナーは非常に悪く、事故の増加も懸念される。
　区と連携して、交通ルール遵守、マナー向上の対策を推進してほしい。

[その他の意見要望等]

1　年末に向けた治安維持活動をお願いしたい。
2　被害者の手記をもっと多くの人に届けてほしい。
3　ふれあいポリスも人事異動があるようだが、野方署のふれあいポリスは地域安全に不可欠な存在なので、更なる充実を図ってほしい。
4　他署協議会の活動や成果について知りたい。

その他	

※　詳細な会議録については、各警察署及び警視庁情報公開センターにおいて閲覧することができます。

令 和 0 6 年 度　　第 1 回　　野方警察署協議会　議事概要			
開催日時	令 和 0 6 年 0 6 月 2 4 日　　午 後 0 3 時 0 0 分 ～ 午 後 0 5 時 0 0 分		
開催場所	野方警察署　署長室	出席者	協議会委員　　7 名 署長ほか　　1 名
内　容			

[業務説明]

１　前回会議における意見要望等に対する取組結果
（１）特殊詐欺防止対策の推進
　ア　特殊詐欺の手口を周知
　　キャンペーン、チラシ配布による広報啓発
　イ　関係機関との連携
　（ア）町会イベントでの周知
　（イ）コンビニ等への未然防止協力要請
（２）自転車総合対策の推進
　ア　交通安全マナー教養
　　小学校、保護者、大学生、企業等の対象に応じて実施
　イ　指導取締りの強化
　（ア）自転車、電動キックボード、モペットの違反取締りを推進
　（イ）交差点違反（信号無視、一時不停止）を主として取締り
２　協議会委員による視察活動
（１）警視庁創立１５０年記念第４６回逮捕術大会（４月２３日・４名参加）
（２）６署合同救出救助訓練（５月３０日・３名参加）
（３）ＮＢＣテロ容疑事案対応合同訓練（６月１０日・５名参加）

[警察署の業務に関する意見等の聴取]

１　署長から協議会への説明内容
（１）特殊詐欺被害の防止
　ア　被害防止月間（４月）の取組結果
　イ　各種対策の継続強化
　（ア）高齢者に向けた被害防止対策の継続
　（イ）広報啓発活動の強化
　　サポート詐欺、リフォーム詐欺等手口の周知
　（ウ）管内コンビニ等への協力要請
　　・　サポート詐欺対策グッズの配布依頼
　　・　未然防止店舗への表彰
（２）自転車総合対策の継続
　ア　春の交通安全運動（４月）の取組結果
　（ア）騎馬隊を招いた「野方交通安全フェスタ」実施
　（イ）自転車マナーの広報啓発活動
　イ　管内の交通事故の傾向
　　自転車関与率が全体の６割を占める。
　ウ　中野駅周辺の自転車取締り強化
　　交通量の多い時間帯に重点を置いた指導・警告・取締り
（３）警察活動の紹介
　ア　被害者支援都民センターについて
　（ア）「ホンデリング」プロジェクト
　　本の寄贈を受け、その売却代金を犯罪被害者の支援に役立てるもの
　（イ）プロジェクト参加の呼び掛け
　イ　警視庁職員採用情勢について
　　受験勧奨（警察官・警察行政職員）
（４）野方署の今後の取組み
　　夏季における街頭防犯活動の強化推進
２　警察署協議会からの意見要望等
（１）自転車総合対策の継続について
　ア　小学生の事故が増えているとのことなので、安全教育を充実させてほしい。
　イ　引き続き、自転車・電動キックボード・モペット等の走行マナーの向上と取締

りの強化をお願いしたい。
（2）警察による犯罪被害者支援について、もっと詳しく知りたい。

[その他の意見要望等]

なし

その他	

※　詳細な会議録については、各警察署及び警視庁情報公開センターにおいて閲覧することができます。

令 和 0 5 年 度　　第 4 回　　野方警察署協議会　議事概要			
開催日時	令 和 0 6 年 0 3 月 2 2 日　　午後03時00分～ 午後04時45分		
開催場所	野方警察署　署長室	出席者	協議会委員　　7 名 署長ほか　　3 名

内　容

会議に先立ち、交通課長の出席について各委員から了承を得た。

[業務説明]

1　取締り活動ガイドラインの見直し
（1）ガイドラインの趣旨、活動方針、注意事項
（2）駐車取締りの重点路線
　　環七通り、中野通りほか
2　協議会委員による視察活動
（1）令和５年度東京都国民保護共同訓練（１月１５日・７名参加）
（2）警察学校卒業式及び卒業配置者の着任行事（３月４日・６名参加）
3　前回会議における意見要望等に対する取組結果
（1）自転車総合対策の推進
　ア　交通安全マナー教養
　　企業、学校、保護者を対象に実施
　イ　指導取締りの強化
　　自転車、電動キックボード、モペットの違反
　ウ　自転車に対する取締り件数
　　前年比１．６５倍（＋１０１件）
（2）年末年始特別警戒の実施
　ア　見せる街頭活動
　　管内の駅を中心に制服警察官による警戒を強化
　イ　交通事故防止対策
　（ア）中野通りにおける車両検問の実施
　（イ）自転車等の交通指導取締り
（3）警察活動をアピールする広報活動
　ア　「１１０番の日」イベント（１月１０日）
　　野方駅前で、地域課を中心に各課合同で実施
　イ　交通安全イベント（１月２５日）
　　野方ウィズでキャンペーンを実施
4　交通死亡事故の概況
　令和６年３月３日深夜、環七内回りで発生

[警察署の業務に関する意見等の聴取]

1　署長から協議会への説明内容
（1）特殊詐欺被害防止月間（４月）
　ア　被害防止対策
　　高齢者の被害防止に向けた対策の継続
　イ　広報啓発活動
　　サポート詐欺の増加等、手口の傾向を周知
　ウ　コンビニ等への働き掛け
　　サポート詐欺対策グッズの配布を依頼
（2）自転車総合対策の継続
　ア　管内の交通事故の傾向
　　依然として自転車関与率が高く対策が必要
　イ　利用者への対策
　（ア）自転車、電動キックボード、モペット等のルールやマナーを広報
　（イ）交通指導取締りの推進
　ウ　事業所等への対策
　　安全教育講話の実施
（3）警察官採用情勢
　ア　警察学校から卒業配置した５名の紹介
　イ　受験勧奨について
2　警察署協議会からの意見要望等

（１）特殊詐欺の広報について
町内会等でもサポート詐欺の横行が話題になっているので、広報を強化して広く周知してほしい。
（２）自転車等の取締り強化について
ア　中野区は特に自転車の乗車マナーが悪いと感じるため、早稲田通り等において中野署と合同で取締りを強化をしてほしい。
イ　モペット等の歩道走行は大変危険なので取締りをしてほしい。

[その他の意見要望等]

取締り活動ガイドラインは、事故の多い交差点付近や幹線道路等が重点地域に指定され、管内実態に即していると感じた。今後も定期的に見直しを行ってほしい。

その他	令和６年度第１回目会議は６月に開催予定

※　詳細な会議録については、各警察署及び警視庁情報公開センターにおいて閲覧することができます。

令和05年度　第3回　野方警察署協議会　議事概要**(案)**			
開催日時	令和05年12月22日　午後02時00分～ 午後04時00分		
開催場所	野方警察署　署長室	出席者	協議会委員　7名 署長ほか　2名

内　容

会議に先立ち、第二交通機動隊野方分駐所において、白バイによる出動前の慣熟走行を視察した。

[業務説明]

1　第２回会議での意見要望等に対する取組結果
（1）委員による視察活動の実施
ア　刑事部鑑識課による警察犬教養（１１月１０日）
イ　令和５年度機動隊対抗レスキュー競技大会（１１月２１日）
（2）自転車総合対策
ア　自転車に対する取締り強化
（ア）取締り件数の推移
（イ）自転車交通指導取締りに対する交通部長賞の受賞
イ　電動キックボード、フル電動自転車に対する指導取締り
ウ　中野通りでのサインカーによる広報
エ　通学路対策の実施

2　管内治安情勢
（1）特殊詐欺被害の抑止
昨年比で減少
（2）各種犯罪の発生と検挙
ア　性犯罪：３件発生、２件を検挙
イ　侵入窃盗：増加傾向
ウ　強盗事件：コンビニ店内で発生、即日検挙
エ　自転車盗：発生件数は高止まり、被害の６割が無施錠

3　管内交通情勢（数字は１１月末現在の手集計）
（1）発生件数
２９３件（うち、死亡０、重傷１５、軽傷３２５）
（2）自転車の高い関与率
ア　交通事故のうち６３．８％を占める。
イ　自転車の単独転倒が多く当庁でワースト４

[警察署の業務に関する意見等の聴取]

1　署長から協議会への説明内容
（1）年末年始特別警戒
ア　街頭配置の増強（１２月１５日から）
（ア）管内の駅周辺を中心に「見せる警戒」
（イ）繁華街対策、雑踏警備、交通対策を強化
イ　全庁一斉警戒の実施
ウ　中野通りにおける交通事故抑止
（ア）車両検問の実施
（イ）自転車等の交通指導取締り
（2）自転車総合対策の継続～交通事故に占める自転車関与率の高さに鑑みた取組
ア　自転車に対する継続的な指導取締り
イ　交通マナー等の広報活動
自転車、電動キックボード、フル電動自転車を対象に実施
（3）警察活動をアピールする広報の実施
ア　災害警備、国民保護施策に係る警察活動の広報
イ　管内住民に寄り添った警察署であるための広報
2　警察署協議会からの意見要望等
自転車総合対策について
（1）効果的な交通安全講話
下記の点について安全講話を実施してほしい。

ア　保護者、教職員、スポーツの指導者等、児童を引率する立場にある人への交通マナー教養
イ　交差点で歩行者を優先させるなど歩行者に配慮した自転車の乗り方
（２）自転車に対する指導取締りの拡大
新青梅街道を走行する自転車についても指導取締りを強化してほしい。
（３）具体的ルールの確認
自転車でコンビニの駐車場から大通りに出る際のルールについて教えてほしい。

[その他の意見要望等]

なし

その他	令和５年度第４回目会議は、令和６年３月に開催予定

※　詳細な会議録については、各警察署及び警視庁情報公開センターにおいて閲覧することができます。

令和05年度　第2回　野方警察署協議会　議事概要			
開催日時	令和05年09月26日　午後02時00分～ 午後04時00分		
開催場所	野方警察署　講堂	出席者	協議会委員　8名 署長ほか　2名

内　容

[業務説明]

1　第１回会議における意見要望等の取組結果について
（1）自転車対策
ア　交通切符の告知
（ア）地域課員による踏切一時不停止の取締り
（イ）交通課員による歩行者妨害の取締り
イ　自転車に対する取締り
（ア）取締り件数の推移
（イ）自転車取締り優秀所属
野方署が表彰を受ける。
ウ　電動キックボード対策
（ア）電動キックボードの定義
（イ）交通ルール及び義務
（2）夏季街頭防犯活動
ア　非行防止活動
（ア）「社会を明るくする運動　ｉｎ　Ｓｕｍｍｅｒ」
（イ）夏休み工作教室（野方母の会）
イ　前兆事案
（ア）定義
子供と女性を被害者とする性犯罪と重大性犯罪に発展するおそれのある事案
（イ）管内の発生状況
2　野方警察署管内の治安情勢（５～８月）
（1）特殊詐欺事件発生状況
昨年比で減少
（2）強盗事件の発生と被害概要
ひったくり（徒歩による犯行）に起因する強盗事件が発生
（3）子供に対する犯罪の発生と検挙
児童に対する暴行事件を即日検挙
（4）自転車盗発生状況
発生は高止まりで、被害の６割が無施錠自転車
3　野方警察署管内の交通情勢
（1）秋の全国交通安全運動の実施
ア　中野区交通安全のつどい
イ　「２０２３　ＴＲＡＦＦＩＣ　ＳＡＦＥＴＹ　ＡＣＴＩＯＮ　ｉｎのがた」
（2）管内の交通事故発生状況（５～８月、手集計）
ア　交通事故発生件数の推移と自転車関与率
自転車関与率６６．２％で当庁ワースト３
イ　車両横転事故（環状七号線で発生）の概要
社会的反響が大きく、他の交通機関にも影響
4　震災警備訓練
（1）なかの防災フェスタの実施
中野区、東京消防庁、自衛隊、民間企業と合同で実施
（2）車両流入防止訓練の実施
震災発生時の車両流入防止訓練を大和町交差点、丸山交差点にて実施

[警察署の業務に関する意見等の聴取]

1　署長から協議会への説明内容
（1）自転車対策の継続的推進について
管内の交通事故に占める自転車関与率が高いことに鑑みて、
ア　自転車に対する指導・取締りの強化
イ　自転車、電動キックボード（モペット）に対する交通マナー等の広報活動

ウ　電動キックボードの違反に対する指導・取締り
（２）採用活動の推進について
ア　採用情勢
（ア）令和５年度採用実施計画
採用区分及び採用予定人数
（イ）令和５年度の採用情勢
受験者数は減少傾向
（ウ）警察学校作成の動画視聴
警察学校初任科の教養課程について動画２本を視聴
（エ）当署独自の取組
・　自衛隊、消防署との合同採用説明会の開催
・　千葉県内の私立大学体育会学生に対する採用説明会の開催
イ　採用業務に関するアイデア等
上記アを踏まえた優秀な人材の獲得に向けた意見を求めた。
２　警察署協議会からの意見要望等
（１）自転車対策は、全世代が永続的に関わるものなので、管内情勢を考慮して今後も対策を継続してほしい。
（２）採用業務について知見を広げるために、警察施設（交通機動隊、警察学校等）の視察を企画してほしい。

[その他の意見要望等]

１　西武新宿線の、いわゆる「開かずの踏切」での無理な横断が散見されるので、横断者への対策を実施してほしい。
２　盗撮などを目撃した場合の通報要領について教えてほしい。

その他	令和５年度第３回目会議は、令和５年１２月に開催予定

※　詳細な会議録については、各警察署及び警視庁情報公開センターにおいて閲覧することができます。

令 和 0 5 年 度　　第 1 回　　野方警察署協議会　議事概要			
開催日時	令 和 0 5 年 0 6 月 1 4 日　　午後02時00分～ 午後04時00分		
開催場所	野方警察署　講堂	出席者	協議会委員　　7 名 署長ほか　　3 名

内　容

会議に先立ち、会長、副会長を互選した。
また、交通課長の出席について各委員から了承を得た。

[業務説明]

１　協議会からの意見要望等に対する取組結果について
（１）保育園・幼稚園の児童と保護者への安全教育
　ア　幼稚園における交通安全教育の実施
　イ　保護者同席で、大人向けの内容を充実させた実施
（２）若い世代への継続的な交通指導取締り
　ア　交通課員による自転車取締りの強化
　イ　取締り体制の再構築
　　「交通課員主体の取締り」から「制服警察官全員による取締り」へ
（３）高齢者への交通安全対策（各種交通安全講話の推進）
　ア　ゲートボール大会に交通課員を派遣
　イ　ふれあいポリスによる講話の実施

２　管内の治安情勢（令和５年１～４月）について
（１）特殊詐欺発生件数
　ア　特に還付金詐欺が顕著な減少傾向にある。
　イ　警察官、銀行員、コンビニ店員、一般の方による声掛けが功を奏している。
（２）強盗犯発生状況（いわゆる広域強盗事案）
　ア　昨年１２月の一連の広域強盗事案のうち１件が当署管内で発生（即日検挙）
　イ　その他タクシー強盗が１件発生
（３）自転車盗発生状況
　ア　発生件数は高止まりしている。
　イ　発生件数のうち６割が無施錠によるもの

３　管内の交通事故発生状況（令和５年上半期）について　※数字は手集計
（１）交通事故発生件数
　　１０６件で微減傾向にある。
（２）自転車が関与する事故件数
　　６７件（６３．２％）と、警視庁全体でも高い比率にある。

４　Ｇ７サミット警備の実施結果について
（１）野方署から警備現場（サミット開催地、都内重要施設）への派遣
（２）在署員による後方治安対策

[警察署の業務に関する意見等の聴取]

１　署長から協議会への説明内容
（１）交通環境の改善
　　交通事情の変化等を踏まえ、現行の駐車監視員の「取締り活動ガイドライン」を見直し、さらに、
　ア　自転車に対する指導・取締りの強化
　イ　自転車事故を誘引する駐車車両に対する取締り
　ウ　電動キックボードに関する
　　・　交通マナー等の広報活動
　　・　交通違反の指導取締り
　等を重点に、安全で円滑な交通環境の実現を図る。
（２）自転車対策
　　多発する自転車事故を抑止するため、
　ア　自転車に対する指導取締り
　イ　自転車利用者に対する交通安全講習会
　を推進する。

（３）夏季における街頭防犯活動の強化推進
　　夏休み時期に入ることから、街頭防犯活動を強化し、
ア　女性・子どもの安全安心対策
イ　少年の非行防止対策
を推進する。
２　警察署協議会からの意見要望等
（１）環状七号線から野方駅周辺の住宅街は、急に道幅が狭くなり、事故が散見されるため、交通課による検証と取締り活動を検討してほしい。
（２）自転車対策は全世代に関わるものであり、今後も継続的に推進してほしい。
（３）駐車車両を避けようとした自転車の事故も発生しているので、駐車車両への対策を講じてほしい。

[その他の意見要望等]

１　特殊詐欺や個人情報提供サイトに関する電話やメールを受けた場合の、警察に対する通報について質問があった。
２　「デジポリス」の安全性と有用性について質問があり、他の委員から、デジポリスの有用性について説明があった。

その他	令和５年度第２回会議は、９月に開催予定

※　詳細な会議録については、各警察署及び警視庁情報公開センターにおいて閲覧することができます。

令 和 0 4 年 度　　第 4 回　　野方警察署協議会　議事概要			
開催日時	令 和 0 5 年 0 3 月 0 9 日　　午 後 0 3 時 3 0 分 ～ 午 後 0 5 時 1 5 分		
開催場所	野方警察署　署長室	出席者	協議会委員　　6 名 署長ほか　　2 名
内　容			

会議に先立ち、当署防犯広報大使である童謡歌手による特殊詐欺の注意を呼びかける動画を視聴した。

[業務説明]

１　協議会からの意見要望等の取組結果について（以下、数字は手集計）
（１）特殊詐欺被害発生状況
ア　令和４年の当署特殊詐欺認知件数は４７件（前年比－１件）、被害総額は約１億５，０００万円（前年比２倍）であった。
イ　被害額が増えた主な理由としては、４，８００万円の高額被害が１件含まれていることによる。
ウ　認知件数はあくまで警察に対して被害届を提出した数によるもので、また、未然防止件数が２５件あったことを踏まえると、被害の実数は統計より多いと思われる。
エ　被害は管内全域に及び、犯行グループも複数存在していると思われるので、常に危機意識を持って対策に取り組んでいる。
（２）高齢者及びその家族に対する広報啓発活動の実施
ア　新型コロナウイルス感染症に対する国の感染防止対策の指針が大きく変わってきたことから、各町会における特殊詐欺被害防止対策防犯講話を再開させた。
イ　特に３年ぶりに開催された各種町会イベントには当署ふれあいポリスが出向いて具体的な対策を広報している。
（３）無人ＡＴＭ対策等による未然防止と検挙活動の実施
ア　利用者が多い昼間帯に、西武線野方駅前と沼袋駅前に設置されている無人ＡＴＭ機の前で署員による警戒活動を行っている。
イ　各金融機関に対しても、現金の高額引き出しの際、当署に対する通報を依頼している。
ウ　コンビニエンスストアに対しても署員の立ち寄り警戒と関係者に対する協力要請を実施している。
エ　冒頭紹介した防犯広報動画を作成して、ユーチューブ上で視聴できる広報活動を実施した。
以上の施策等により、昨年は２５件の被害を未然に防止することができた。

２　野方署刑法犯認知件数・検挙状況
（１）令和４年統計
令和４年の刑法犯認知件数は９７１件、検挙件数は１５９件であった。
（２）自転車盗被害
ア　自転車盗被害が増加しており、前年比９７件増加している。
イ　地域別で見ると、野方地区が６７件で最多、以下新井地区５３件、大和地区４３件、上高田・若宮・中野・鷺宮地区が３０件台と続く。
３　野方署交通事故発生状況
（１）令和４年は、死亡事故２件（前年比＋１件）、人身事故３１３件（前年比＋６５件）、物件事故１，４６８件（前年比＋１８５件）、事故総件数は１，７８１件（昨年比＋２４８件）でいずれも増加している。
（２）人身事故の７割近くが自転車が関与する事故で、うち３割が６５歳以上の高齢者に係る事故であった。
４　野方署１１０番入電状況
（１）令和４年の当署１１０番入電は約１６，０００件、前年比約２，０００件の増加であった。
（２）１１０番件数の増加や集中により、警察官の到着が遅れるなど通報者の期待に添えない事態も予測されるため１月１０日、「１１０番の日」に中野サンプラザ前において、「不要・不急の１１０番通報」を抑制してもらうための広報啓発キャンペーンを実施した。
５　野方署Ｇ７サミット警備に向けた取組
（１）先進７ヵ国首脳会議が、本年５月１９日から２１日まで、広島県で開催されることとなった。

（２）当署においても、警備係を中心に警備体制を構築し、都民の理解と協力を得ながら各種警備諸対策を推進していく。
（３）警備に先立ち、２月１０日に管内四季の森公園において、機動隊と合同で銃器使用凶悪犯罪対応訓練を行った。

[警察署の業務に関する意見等の聴取]

１　署長から協議会への説明内容
（１）令和５年の交通事故抑止目標
ア　死亡事故「０」件
イ　交通人身事故　昨年（３１３件）未満
（２）交通対策の柱
ア　自転車対策
多発する自転車事故抑止に向けた自転車に対する指導・取締りと自転車利用者に対する交通安全講習会の推進
イ　歩行者対策
子供・高齢者等を対象とした交通安全教育、企業等に対する安全講話等、交通安全への関心を高める活動の推進
ウ　通学路・バスレーン対策
生活に密着する道路での交通違反取締りや道路交通環境整備等の交通対策の強化
エ　貨物車・二輪車対策
白バイの機動力を活用した取締り強化とトラック・二輪車ストップ作戦等の街頭活動の強化
オ　電動キックボード対策
正しい使用方法や交通マナー等の広報活動、違反に対する指導・取締りの強化
（３）意見聴取事項
ア　保育園・幼稚園に対する子供及び保護者への安全教育の実施
イ　若者への継続的指導取締り
ウ　高齢者への交通安全対策
２　警察署協議会からの意見要望等
（１）保育園・幼稚園に対する子供及び保護者への安全教育の実施
ア　保育園・幼稚園のほか、小学生に対しても安全教育を実施してほしい。
イ　保護者に対する安全教育も実施してほしい。
ウ　安全教育を実施していることを、もっと周知させるべきである。
（２）若者への継続的指導取締り
ア　自転車への厳格な指導取締りを実施してほしい。
イ　「自分も加害者になり得る」ことを認識させる安全教育を実施してほしい。
（３）高齢者への交通安全対策
ア　ふれあいポリスを活用して出前型の安全講話を実施してほしい。
イ　家庭内で交通安全に関する会話をする機会を提案する。

[その他の意見要望等]

１　特殊詐欺被害防止キャンペーンを西武新宿線都立家政駅、野方駅で実施しているが、大和町の住民は主にＪＲ高円寺駅を利用しているので、キャンペーンの効果が届きにくい。大和町郵便局近辺でのキャンペーンを検討いただきたい。
２　特殊詐欺被害防止ステッカーは、デザインを修正し、マグネットで貼付できるようにして、作成を進めていただきたい。

その他	令和５年度第１回目会議は、令和５年６月に開催予定

※　詳細な会議録については、各警察署及び警視庁情報公開センターにおいて閲覧することができます。